

山の達人でも恐れる怖い存在 時には命さえも失う危険も

山には鳥や鹿、うさぎなど人を魅了するかわい動物だけではありません。蛇や熊などもいますが、中でも気を付けなくてはいけないのが「野犬」の存在です。今回は高橋さんが山の中で実際に経験した、怖い体験をお話ししてくれました。



株式会社高橋林業
代表取締役 高橋正二さん
神奈川県出身。山梨県庁退職後、森林組合の参事を勤め、林業経営の知識を深める。49歳で独立し、「株式会社高橋林業」を設立。

山には私たちが楽しめる様々なことがあります。仲の良い友だちや家族と一緒にハイキングやキャンプをしたり、山並みの稜線や四季の移ろいを感じられる景色を眺めたり、きのこや山菜狩りなどはもちろんのこと、山の中には多種多様な動植物や昆虫が生息していますので、それらの観察や採取などした

りするのもいいですよ。他にもいろいろな事もあります。山はいつも安全で楽しい事があるわけではありません。時には命さえも失うこともあり得るのです。例えば遭難や落石、落下、落雷、雪崩、倒木などによる事故の危険もあります。特に怖いのが「野犬」などの人間を恐れない動物の存在です。これまでに山の中で様々な動物たちと遭遇したのですが、中でも忘れられない怖い体験をお話ししたいと思います。

自分か野犬たちに取り囲まれてしまいました。その野犬たちは皆なやせ細り、低いうめき声を響かせてながら、よだれを垂らし、私に向かってさらに近づいて来ます。危険を察知し、とつさに腰に携えていた鉈を手にとって振り回して威嚇をしたのですが、それでもその野犬たちは恐れることを知らず近寄って来るので、私は大声をあげながら鉈を振り回し、必死で近くに止めていた車の中に逃げ込んだのです。そして急いで車を走らせて、その場から命ながら逃げ出しました。あの時は襲われてしまうだろうと覚悟を決めていたのでしたが、無事に逃れられたのが幸いです。このように「野犬」はとても恐ろしい存在です。

